



## 蜂さんも食事中

学 園 長 小 島 澄 人

山、山、森、草原、果樹園、そうした所には必ず蜂がいます。この夏、木の剪定や草原の草刈りをするとよく見かけました。次から次へと何かを求めるかのように飛び回っています。私の存在なんか気にしない風です。蜂は自分の生活のためか、自分の習性なのか解らないがよく動き回っています。なんとなく「ミツバチマーヤ」の中での作業でした。私の周りを何匹も飛び回っている中での作業をしているのに、一度も刺されませんでした。

またぶどうやブルーベリー狩りを何度も行ないましたが、私と一緒にといたらおかしいが、私が採ろうとする収穫物によってきます。けどぶどうの房に手を当てるとはなれてくれます。私は今、旬のぶどうを教えてくれているとも思えました。一週間、毎日やはり同じでした。ブルーベリーの時もやはりそうでした。当たり前のことですが、蜂さんの動きはいつも「食事中」か甘い物へ、甘い物への習性だと思い、淡々としてぶどう狩りを進めました。最初は刺されたらどうなるのか心配でしたが、今は仲良くやっています。

勿論みなさんにも「ミツバチマーヤ」のイメージはあっても、自分の周りを飛び交う蜂には警戒をするし、すぐ報告に来ます。当然でしょう。玉川中央幼稚園の「小鳥の森広場」に蜂の巣が、との連絡を受け、業者に頼むことになりましたが、幸いにも蜂さんの活動中であつたようで安心しました。次の日、夢の森幼稚園の園長より木の上に大きな蜂の巣があるからどうしよう、との相談、そのそばでは柿の実で蜂がいるとのことで、ロープが張られていたのでなんとなく退治してロープを男性職員が外していました。業者か男性が駆除するか決めよう、と幼稚園に向かいました。

複雑な思いがするが、蜂さんの活発化が見られるようになりました。自然があると、必ずといっていいほど出くわす蜂さんたち、刺すことを考えると、気をつけて欲しいし、やたらと手を振り払わない事です。巣を見かけたら、すぐお知らせください。

コロナ禍のなかのスタートとなりますが、充分気をつけ、楽しい園生活を！と、気持ちをしっかり持って頑張っていきます。運動会等、行事は状況をよく考えての決断を、また子どもたちの楽しい笑顔を思い出しながら、無理のない形での開催を考えています。

二学期、気持ちだけが勝負だと思って、気を引き締めて、共に乗り越えましょう。